

沖縄21世紀ビジョン(仮称)

一緒に沖縄の将来を考えてみませんか？

県では、初めて、独自の長期ビジョンを作ることとしています。「沖縄21世紀ビジョン(仮称)」は、これからの沖縄県づくりの基本的な指針となることから、県民の皆様からのご意見・ご提言を幅広く募集する等、沖縄の将来像を皆様と一緒に描いていきたいと考えています。

どのような沖縄で暮らしていきたいですか？

西暦二〇三〇年―中高生の皆様は三十歳代、大学生の皆様は四十歳前後になり、子育てをされているのかもしれない。そして、現在の三十〜四十歳代の皆様には、お孫さんがいらっしゃるのかもしれない。

二十年後のあなた自身、そして沖縄を想像してみてください。あなたはどのような沖縄で暮らしていきたいですか？また、子や孫に、どのような沖縄を残してあげたいですか？

沖縄21世紀ビジョンを作ります

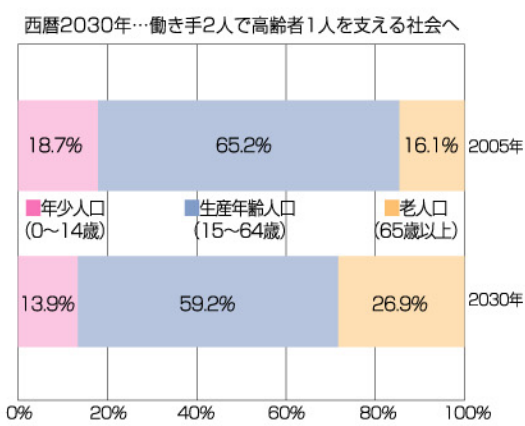
県は、平成二十一年七月を目途に、21世紀ビジョンを作ります。



沖縄の青い海と白い砂浜

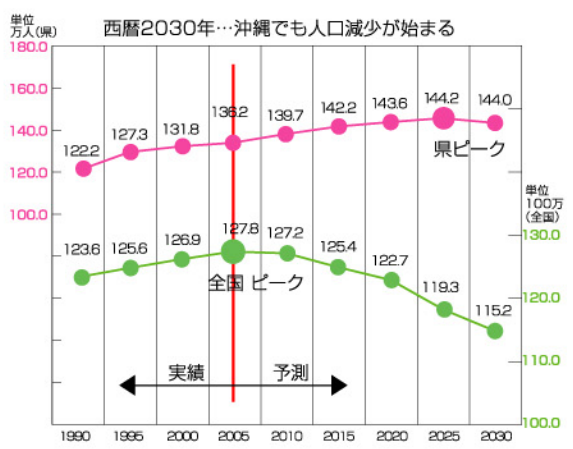


沖縄の伝統的な風景



この21世紀ビジョンは、おおむね二〇三〇年における社会経済の動向を展望し、将来のあるべき沖縄の姿を描くとともに、その実現に向けた取り組みの基本方向を示すもので、県として初めて作る「基本構想」です。

そこで、県では沖縄の将来像を考えるための素材として、今後の



予測データ等をまとめた基本的な考え方を今年八月に公表し、皆様からご意見等の募集を始めることを予定しています。

一緒に沖縄の将来像を考えてみませんか？

21世紀ビジョンには、県民の皆様からのご意見・ご提言を幅広く取り入れながら、皆様とともに沖縄の将来像を創り上げていきたいと考えています。

あなた自身とあなた大切な人の幸せのため、そして、これからの沖縄を担う子ども達のために、沖縄の将来像を一緒に描いてみませんか？

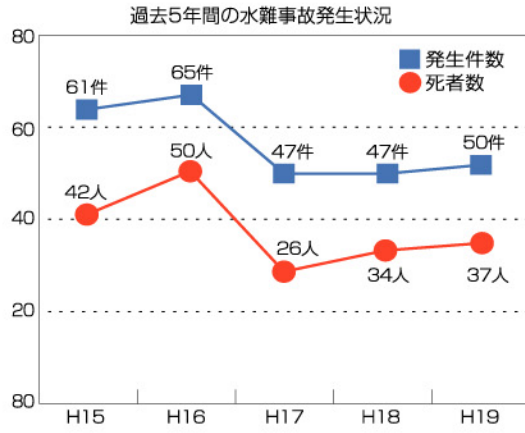
水難事故をなくそう！

美ら島セーフティーおきなわ2008

沖縄県では三月下旬から県内各ビーチで「海びらき」が行われ、本格的な海水浴シーズンが始まりました。県では皆さんが安全にマリンスポーツを楽しめるように四月二十三日から八月三十一日にかけて水難事故防止運動を実施しています。

高まる水難事故の危機

平成十九年は五十件の水難事故が発生し、三十七人が犠牲になりました。今年五月一日現在でも早くも八件の水難事故が発生し、六人の方が犠牲になっています。現在のペースではこれから夏に向けてさらに水難事故が増える可能性があります。



- ①子どもや高齢者の水難事故防止
- ②シュノーケリングの事故防止
- ③飲酒や荒天時における遊泳禁止の広報啓発
- ④遊泳前の体調等メディカルチェックの推進
- ⑤ライフジャケット着用の推進
- ⑥海域レジャー提供業者に係る事故防止



シュノーケリング講習の様子

水難事故は、夏の開放感に浸るあまり、ちょっとした不注意や油断が取り返しのつかない事故に直結することから、皆さん一人一人が意識して事故防止に努めていく必要があります。

水難事故をなくすための重点事項

水難事故をなくしていくために、県は、次の六項目を重点事項として、マリンスポーツ関係団体と協力して活動を推進します。

シュノーケリングの安全対策について

本県では水難事故全体の中で特に素潜りやシュノーケリング中の事故の割合が高く、また全死亡者の約半数を占めています。皆さんがシュノーケリングを安全かつ確実に楽しむためにも事前に正しい知識と技能を習得しておきましょう。

シュノーケリング安全対策五原則

- ①ライフジャケット、ウエットスーツを着用しましょう。
- ②一人で泳がず、二人一組で泳ぐようにしましょう。
- ③自己流で泳ぐことは危険です。基本講習を受けてから始めましょう。
- ④飲酒、体調が悪いときは泳ぐことをやめましょう。
- ⑤泳ぐ場所を確認し、危険な海域では泳ぐことをやめましょう。

水難事故防止運動啓発ポスターの部 最優秀



池間中学校3年 具志堅 泉(くしけんいずみ)

お問い合わせ【県警 生活安全部 地域課】TEL.098-862-0110

お問い合わせ【県企画調整課】TEL.098-866-2026 FAX.098-866-2351